

腹をたてていたのが消えてしまった

126

萩原良昭

腹をたてていたのが消えてしまった

「結局、レナード先生は、  
僕がよしつこいので、

「座りなさい、座りなさい。  
君はかなりの変人だ。  
こんな事、わからないなら、  
中一、中二に戻りなさい。  
おかしい、座りなさい。」

と、英語でしかめつづらで言う。

その調子に押されて、僕は座らせられた。

レナード先生の訳は単に、  
「客が来れば、五時に戻ると言つて下さい。」

しかし、腹が立つ。  
もし、僕が間違っていたら説明でもしてくれたら  
納得するかも知れないのに、  
「中一、中二に戻れ！」「なんて、ひどい侮辱だ。」

次の代数の時間、  
そして、その次の社会の時間を通して  
レナード先生の文の間違いを  
明らかにして、  
反発文を書き、それを覚えた。  
レナード先生にやり返してやろうと思い、  
それに一生懸命であった。

Please tell him (the guest)  
that I will be back  
by five if she comes

127